



「はじめる」から「かなえる」へ。福島県では、震災から10年を機に「ふくしまからはじめよう」からのバトンを渡す、スローガン「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」を策定しました。復興に向けて歩んできた「これまで」と、新しい未来に繋げていく「これから」と、県民のみなさんひとりひとりの「今」を重ねたメッセージです。

## 「福島県2050年カーボンニュートラル」の 実現に向けて

福島県 環境共生課

昨今、世界規模で地球温暖化による影響が深刻化しており、あらゆる主体が一体となって、地域に根ざした地球温暖化対策を積極的に行っていく必要があります。

福島県では、令和3年（2021年）2月に、2050年度までに脱炭素社会を目指す「福島県2050年カーボンニュートラル」を宣言し、令和4年（2022年）5月には、「だれが」、「いつまでに」、「何を必要とするのか」を示した「福島県2050年カーボンニュートラルロードマップ」を策定しました。

今回は、福島県のカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを紹介します。

ホームページで詳しい情報を公開しています。

[福島県 カーボンニュートラル](#)

検索

### カーボンニュートラルとは

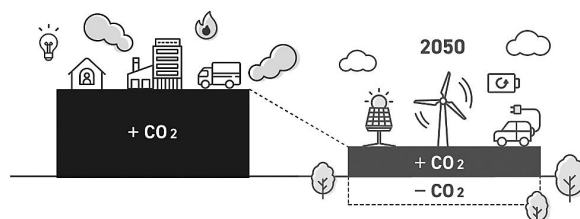
カーボンニュートラルとは、人の活動により排出される二酸化炭素をはじめとする「温室効果ガス排出量」と「森林吸収量」を同じにすることで

カーボンニュートラルの実現のためには、省エネ設備などの導入により、消費するエネルギーを減らし、太陽光、風力などの再生可能エネルギーをできるだけ使うことで、温室効果ガスの排出をできる限り減らす必要があります。

### 福島県の地球温暖化対策について

#### 福島県地球温暖化対策推進計画について

県では、2050年度の温室効果ガス排出量実質ゼロに向けて、2013年度を基準年度として、2030年度までに▲50%、2040年度までに▲75%とする削減目標を定めました。



(出典) 環境省脱炭素ポータル

その目標の実現のため、

- ①県民総ぐるみの省エネルギー対策の徹底、
- ②再生可能エネルギー等の最大限の活用、
- ③二酸化炭素の吸収源対策の推進、
- ④気候変動への適応の推進 を盛り込んだ

「福島県地球温暖化対策推進計画」を令和3年12月に策定しました。

### 福島県2050年カーボンニュートラルロードマップ

「福島県地球温暖化対策推進計画」を受け、2050年度までに、誰がどのような対策をどのように実施する必要があるのかを示した「福島県2050年カーボンニュートラルロードマップ」を令和4年5月に策定しました。

ロードマップでは、民生業務部門（オフィス等）の温室効果ガス排出量を2050年度までに、2013年度比▲99%、民生家庭部門では2050年度までに、2013年度比▲97%としており、簡単な目標ではありません。

県では、2050年カーボンニュートラルに向け、さまざまな事業を実施しており、その取り組みの一部を紹介します。

### カーボンニュートラルの実現に向けた県の取り組み

#### ふくしまゼロカーボン宣言事業

「ふくしまゼロカーボン宣言」事業は、「事業所」や「学校」の皆さまが、2050年度までの脱炭

素社会の実現に向けて、「ゼロカーボン」を目指し取り組むことを宣言し、自ら地球温暖化対策を実施するものです。

県ではこれまで、地球温暖化対策の一環として、事業所における温室効果ガス排出削減等を推進するため、「福島議定書」事業を実施してきました。

令和3年度は、1,814事業所、354校の参加があり、約2,400世帯の1年分の排出量に相当する約9,500トンの二酸化炭素が削減されたと推計しています。

なお、令和4年度から、「ふくしまゼロカーボン宣言」事業として内容を次のとおりリニューアルして実施しています。

#### リニューアル内容

##### ○「初級編」を新設！

「中級編（旧従来編）」及び「上級編」と合わせて、3コースから参加方法を選ぶことができます。「初級編」は県が提示したメニューから選択するだけで参加でき、さらに、結果報告書では電気・水道使用量等の報告が不要となり、負担もありません。

##### ○取り組み期間を1年間とし、前年度の結果と比較！

1年間かけて取り組んでいただきます。年度途中からの参加も可能です。「中級編」はチャレンジ期間（7～9月）を設け、取り組み実績をランキング形式で公表することとします。

##### ○翌年度の環境イベントで、表彰式および取り組み事例発表を実施！

本事業の表彰は、令和5年度の環境イベントで大々的に実施し、取り組み内容を発表する機会を設けます。

## ふくしまゼロカーボン DAY！

楽しみながら学べるたくさんのコンテンツを通じて、地球温暖化対策を身近に感じてもらい、県民総ぐるみの取り組みを推進するイベントです。

今年は再生可能エネルギー関連の展示・商談イベントである「ふくしま再生可能エネルギー産業フェア（愛称：REIF<sup>リーフ</sup>ふくしま）」と連携して、10月13日(木)～15日(土)にビッグパレットふくしま（郡山市）にて開催予定です。



昨年度の様子

## 福島県環境アプリ

こまめに電気を消すなど、身近なエコに繋がる取り組みでポイントをゲットできます。

貯まったポイントで「福島県産牛」などの県産品が当たる抽選に応募することができます。



## 各種補助制度

県内の各事業者の省エネに向けた取り組みや各家庭、個人の二酸化炭素排出抑制に向けた取り組みを支援するため、設備等の導入に係る費用の一部について、各種補助を行っています。

### 事業者向け省エネ対策推進事業補助金

事業者の省エネ意識の向上を図り、自主的に省エネ活動に取り組むことを支援するため、県内の中小企業等を対象に省エネ設備の更新等に係る費用の一部を補助するものです。

#### 1 対象者

県内の中小企業等で省エネ設備の更新を行う方

#### 2 対象設備

##### ○高効率照明

（LED照明。既存設備の更新に限る）

##### ○空調設備（既存設備の更新に限る）

##### ○電気冷蔵庫、電気冷凍庫

（既存設備の更新に限る）

##### ○BEMS

（ビルエネルギー管理システム）

※国または県が、派遣または斡旋する「省エネルギーアドバイザー」の診断を受け、その助言に基づいて行う省エネ設備への更新等に係る費用が補助対象経費となります。

#### 3 補助率

1 / 3 以内（上限80万円）

※施設の所在地により優遇措置あり

#### 4 応募期間

令和4年7月29日(金)まで

## 福島県電気自動車導入推進事業補助金

運輸部門における二酸化炭素排出量削減を図るため、県内の個人または中小企業等を対象に電気自動車の購入に係る費用の補助を行うものです。

### 1 対象者

- 補助対象車両を購入する県内の個人

※直近の都道府県民税の所得割額が172,600円以下であること

- 補助対象車両を購入する県内の中小企業等（リース事業者含む）

### 2 対象車両

一般社団法人次世代自動車振興センター（NeV）のクリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金・交付規程において、補助金の交付対象の車両となっている車両で、令和4年4月1日以降に初度登録された車両

### 3 補助額

上限20万円

### 4 応募期間

令和5年2月28日(火)まで

※直近の都道府県民税の所得割額が172,600円以下であること

### 2 対象設備

- 高断熱外皮
- 断熱仕様のドア
- 浴室ユニット
- 空調設備
- 給湯設備
- 省エネルギー設備（換気設備、照明設備）
- エネルギー計測装置（HEMS）

### 3 補助額

40万円（定額）

### 4 応募期間

令和4年7月29日(金)まで

今回紹介した事業のほか、県では地球温暖化対策に関する情報を一元化して発信するポータルサイトを公開しています。

国、県、市町村における地球温暖化対策の取り組み、各種支援事業などを掲載していますので、ぜひご活用ください。


## ネット・ゼロ・エネルギーハウス推進事業補助金

県内にネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）を新築する方等を支援することを目的として、新築に係る費用の補助を行うものです。

### 1 対象者

- 県内においてZEHを新築する方
- 県内において新築住宅のZEHを購入する方

福島県 地球温暖化 ポータル

検索 



### [問い合わせ先]

福島県環境共生課

電話：024（521）7813